



令和 5 年 5 月 8 日

広島大学 IDEC 国際連携機構とスペインバルセロナ国際保健研究所（ISGlobal）による、科学のおよび教育的協力プロジェクトを促進する協定の締結について

情報提供

広島大学 IDEC 国際連携機構は、スペインのラ・カイヤ財団が支援するバルセロナ国際保健研究所（ISGlobal）と学術、教育、研究を促進するための協定を 4 月 12 日に締結しました。

この協力協定では、IDEC 国際連携機構と ISGlobal が、自然科学、工学、大気科学、農業、健康科学の分野を組み合わせたプラネタリーヘルスと感染症の分野で協力していくことが約束されています。調印により、この分野での学術交流と教育への参加が期待されるとともに、合同シンポジウム、会議、出版物、および両機関にとって関心のある活動が促進されます。

この協定は、プラネタリーヘルスと感染症の分野で以前から交流のあった IDEC 国際連携機構 PHIS センターの丸山史人教授と、ISGlobal の気候と健康プログラムの責任者であるザビエル ロド氏をコーディネーターとし、IDEC 国際連携機構 前機構長の金子慎治教授と ISGlobal の所長であるアントニ・プラセンシア・タラダチ氏を代表者（署名者）として締結したもので、IDEC 国際連携機構としては 2 件目の協定締結となります。

【協定によってもたらされる利点】

1. 多様な視点
2. 補完的な専門知識
3. ネットワークの拡大
4. 強化されたデータとリソース共有
5. 研究成果の増加
6. 能力構築の向上
7. より広範な政策への影響

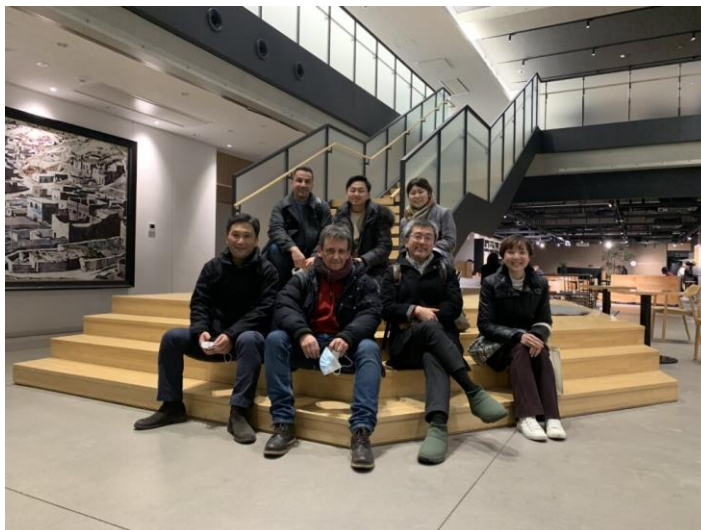
【今後の展開】

関係者は、このコラボレーションがプラネタリーヘルスと地球規模の変化に関する戦略的研究プロジェクトを実施するための非常に良い機会であるとともに、両機関が研究プロジェクトで協力し、知識と経験を交換し、学術的学習を促進するためのユニークな機会を提供するであろうことを強調しています。

リソースの共有の改善、研究成果の増加、より広範な政策への影響など、プラネタリーヘルスの観点から多くの利益が享受される可能性があり、これらの利点は、人間の健康と地球の健康との間の複雑な関係をよりよく理解する手助けとなり、両方を保護するためのより効果的な戦略の開発に役立つものと期待されます。



（2023 年 1 月 12 日、ISGlobal 本部バルセロナにて。左から Rodo Xavier 教授、丸山史人教授、ISGlobal ディレクターの Antoni Plasencia Taradach 教授）



（2023 年 1 月 25 日に ISGlobal Rodo Xavier 教授が本学ミライクリエにて講演後に丸山史人教授を含む IDEC 国際連携機構のメンバーと共に記念撮影）

＜参考＞

○ ラ・カイシャ財団：

La Caixa（ラ カイシャ：正式には **Caixa d'Estalvis i Pensions de Barcelona**）は、バルンシアに本社を置き、5,800 以上の支店のネットワークを持つ、スペインで 3 番目に大きい金融機関であり、非営利団体である。スペイン最大の慈善基金を管理しており、世界でも最大級である。ラカイシャは、社会プログラムを通じて、社会、環境、科学、文化、研究プログラムに資金を提供している。

○ プラネタリーヘルス：

Planetary Health は、「人間・社会・自然生態のトータルな健康」を地球規模で目指す概念であり、2014 年より世界の科学者が提唱している「新しい融合科学」への挑戦である。この新たな世界的挑戦を使命とし、理学・工学・農学・健康科学の専門領域を連携させた学際的研究拠点を構築することを目的とする。

※ 活動の一環として、2023 年 4 月 21 日に G7 広島サミットに向けたプラネタリーヘルス大学間パネルにおいて ISGlobal ディレクターの Antoni Plasencia Taradach 教授が基調講演を行いました。

詳細は以下 URL を参照。

<https://idec.hiroshima-u.ac.jp/event/2023/04/the-5-university-panel/>

【お問い合わせ先】

IDEC国際連携機構 教授 丸山 史人

Tel：082-424-7638

E-mail：fumito@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

